

写経の作法

- 一、顔や手を洗い、口を注いで身と心を落ちつかせます
- 二、室内を綺麗に整えます 線香などがあれば、香を焚きます
- 三、正しい姿勢を心掛け、心穏やかに机に向かいます
- 四、手を合わせ、その場にて一礼します

五、開経偈（声を出してお唱えします）

かいきようげ

無上甚深微妙法 むじょうじんじんみみょうほう 百千万劫難遭遇 ひやくせんまんごうなんそうぐう

我今見聞得受持 がこんけんもんどくじゆじ 願解如来真实義 がんげによらいしんじつぎ

六、浄写（ご自身のペースでゆったりと写経します）

七、祈念（願い事や供養の気持ちを書き入れます）

八、般若心経読誦（書写したお経の一字一字を読み上げます）

九、三祖宝号（三回ずつ）

なむだいしへんじようこんごう

南無大師遍照金剛

なむこうぎようだいし

南無興教大師

なむせんよそうじよう

南無專譽僧正

十、回向

がんにしくどく

願以此功德 普及於一切

がとうよしゆじよう

我等与衆生

かいぐじようぶつどう

皆共成仏道

十一、手を合わせ、その場にて一礼します